

メバルのまち中泊町に向けて

中泊メバルフォーラム2015開催

中泊メバル料理推進協議会は、12月10日(休)日本海漁火センターで中泊メバルフォーラム2015を開催し、約70人が参加しました。

このフォーラムは、7月3日にデビューし、年間目標の1万食を達成したメバル膳の機運を引き続き持続するために、「メバルで町おこし」をテーマとしたものです。

フォーラムは、同協議会からメバル膳の取り組み報告の後、メバル膳をプロデュースしたヒロ中田氏による基調講演が行われました。

講演では、「中泊メバル」のブランド化に向け、中泊メバル料理グランプリの開催や、土産物として中泊メバル饅頭の商品開発など10個の提案をしました。

その後、ヒロ中田氏の提案を基にパネルディスカッションが行われ、パネリストに選ばれた西北地域県民局鰯ヶ沢水産事務所の二木所長や深浦マグロ料理推進協議会の西崎会長ら5人と、これからの「メバルのまち中泊町」について討論が行われました。

また、来場者からも意見が出るなど、中泊町のメバルで地域を活性化するにはどうしたら良いか、町全体で考えていこうとしていました。

その後、フォーラムに参加した活ハマクラブといいなごどまり会の会員らが交流し、これからの中泊町の活性化に向けて協力できることを話し合いました。



講演を聞く参加者たち



様々な意見が出たパネルディスカッション



交流会で意見交換

毎日の帰りが楽しみ

中里高校玄関にイルミネーション

中里高校生徒会が、12月8日(火)同校玄関前に飾り付けたイルミネーションの点灯式を行いました。

生徒会が企画している点灯式は、秋田瞳真生徒会長が「みなさん今日は寒い中、集まってくれてありがとうございます。これから学校の帰りに楽しみができました。協力ありがとうございます」とあいさつしました。

生徒や教員たちが点灯前のイルミネーションの前を囲んでカウントダウン。学校の照明を消してから点灯は、数色のLED照明が一際輝いていました。

最後は、サンタクロースが登場し、生徒らにプレゼントを配っていました。



きれいなイルミネーションに喜ぶ生徒たち

